

J A F 公認準国内競技
JMRC 東北ラリーシリーズ 第1戦
MSC あきたウィンターラリー2022



特別規則書(草案)

2022年1月8日(土)～9日(日)

主 催	：	モータースポーツクラブあきた
運 営	：	MSC あきたウィンターラ大会組織委員会
協 力	：	モータースポーツクラブはちのへ (MSC はちのへ) JMRC東北ラリー部会

モータースポーツクラブあきた MSC あきたウィンターラリー2022
大会組織委員会

目 次

	公示	3
1	プログラム	3
2	競技会の名称	3
3	競技の格式	3
4	競技種目	3
5	開催日程および開催場所	4
6	競技会本部（HQ）	4
7	コース概要	4
8	オーガナイザー	4
9	組織	4-5
10	参加車両及びクラス分け	5
11	申込受付期間	5
12	参加申込および問い合わせ先（大会事務局）	5-6
13	保険	6
14	参加台数および受理	7
15	クルーの安全装備	7
16	音量規制	7
17	公式車両検査	7
18	広告およびラリーステート	8
19	タイヤ&チェーン	8
20	タイムコントロール	8
21	スペシャルステージ	8
22	整備作業	8
23	賞典	8
24	損害の補償	9
25	抗議および控訴	9
26	オフィシャルの識別	9
27	本規則の解釈	9
28	新型コロナウイルス感染症に関する特別措置	9
細則 1	アイテナリー	10
細則 2	レッキスケジュール	11
細則 3	CRO（コンペティターリレーションオフィサー）	11
細則 4	HQ・サービスレイアウト	12
細則 5	スタートシグナルシーケンス及び手順	13
細則 6	ゼッケン及び広告	14
細則 7	スーパースペシャルステージ	14
細則 8	フレキシサービス	14

公 示

2022年JMRC東北ラリーシリーズ第1戦「MSCあきたウィンターラリー2022」は、一般社団法人日本自動車連盟（以下「JAF」という）の公認のもとに国際自動車連盟（FIA）の国際モータースポーツ競技規則およびその付則に準拠した日本自動車連盟（JAF）の国内競技規則およびその細則、2022年日本ラリー選手権規定、2022年日本ラリー選手権統一規則、ラリー競技開催規定および本競技会特別規則に従い国内競技として開催される。

1. プログラム

アイテム	日 時	場 所
参加申込受付開始	2021年12月10日(月) 10:00～	MSCあきたウィンターラリー2022大会事務局
参加申込受付終了	12月20日(金) ～19:00	MSCあきたウィンターラリー2022大会事務局
エントリーリスト発表	2021年12月28日(火) (予定)	公 式 W E B サ イ ト
サービスパークオープン	2022年1月8日(土) 7:00	
ラリーヘッドクォーター (HQ) 開設	7:00	
公式掲示板設置	8:00	ラリーHQ
ロードブック配布	9:00	ラリーHQ
レッキ参加確認受付	9:00～9:30	
ドライバーズブリーフィング (予定)	9:30～9:40	
レッキ開始	10:00～	各ステージ
レッキ終了	～12:00	
サービス受付	11:00～12:00	ラリーHQ
メディア受付	12:00～	ラリーHQ
メディアブリーフィング	12:30～	ラリーHQ
参加確認受付/書類審査	13:00	ラリーHQ
公式車両検査	13:00	サービスパーク内公式車検エリア
第1回審査委員会	13:30	ラリーHQ内審査委員会室
Leg1スターティングリスト公示	13:40	ラリーHQ内公式掲示板
ラリーヘッドクォーター (HQ) 開設	1月9日(日) 5:00	
Leg1 ラリースタート	7:00	ラリーHQ
Leg1 ラリーフィニッシュ	～11:00(予定)	ラリーHQ
再車両検査	11:00～(予定)	ラリーHQ内公式掲示板
暫定結果発表	11:30(予定)	ラリーHQ
正式結果発表	12:00(予定)	サービスパーク内公式車検エリア
表彰式	12:10(予定)	
HQ 閉鎖	14:00(予定)	

2 競技会の名称

2022年JMRC東北ラリーシリーズ 第1戦
M S C あきたウィンターラリー2022

3 競技の格式

JAF 公認 準国内競技 JAF 公認番号 2022-6301 号

4 競技種目

ラリー競技開催規定の付則「スペシャルステージラリー開催規定」に従ったスペシャルステージラリー

5 開催日程および開催場所

日 程：2022年1月8日（土）～1月9日（日）の2日間
 場 所：青森県三戸郡五戸町切谷内石ヶ沢40-103 サーキットパーク切谷内
 ラリースタート：青森県三戸郡五戸町切谷内石ヶ沢40-103 サーキットパーク切谷内
 ラリーフィニッシュ：青森県三戸郡五戸町切谷内石ヶ沢40-103 サーキットパーク切谷内

6 競技会本部（HQ）

所在地：青森県三戸郡五戸町切谷内石ヶ沢40-103
 サーキットパーク切谷内

開設日時：2022年1月8日（土） 7:00

閉設日時：2022年1月9日（日） 14:00

レイアウトは 細則4 に示す

7 コース概要

スペシャルステージ：グラベルおよびターマック（スノー予定）
 総走行距離：約17km
 スペシャルステージの総距離：15km（予定）
 スペシャルステージの数：6
 セクションの数：2
 レグの数：1

8 オーガナイザー

オ-ガナイザー名称：モータースポーツクラブあきた（JAF 加盟クラブ 05026 略称：AKITA）
 代表者：伊藤 久
 所在地：秋田市仁井田目長田2丁目3-27
 TEL：018-839-0834 FAX：018-839-0834
 : <https://msc-akita.com>

9 組織

9.1 大会役員（予定）

大会名誉会長	横町 秋男	（株式会社横町建材 代表取締役社長）
大会名誉会長	日向 俊男	（MSC はちのへ）
大会会長	小野 守平	（JMRC 東北運営委員会会長）
大会副会長	立川 敬士	（AKITA）

9.2 大会組織委員会

組織委員長	加藤 正美	（AKITA）
組織委員	立川 敬士	（AKITA）
組織委員	保坂 重己	（AKITA）
組織委員	山本 朗	（DSCC-A）

9.3 審査委員会

審査委員長	鶴ヶ谷 慶市	（CMSC 青森）
審査委員	仲野 次郎	（RTGP）

9.4 競技役員

競技長	伊藤 久	(AKITA)
副競技長	加藤 正美	(AKITA)
コース委員長	伊藤 久	(AKITA)
計時委員長	保坂 重己	(AKITA)
技術委員長	佐々木 洋	(AKITA)
救急委員長	菅原 智志	(AKITA)
医師	関 勝剛	(医療法人関医院理事長)
事務局長	熊谷 修	(AKITA)

9.5 コンペティターズリレーションズオフィサー(CRO) 古川 金美 (SCCB 青森)

10 参加車両及びクラス分け

参加車両

2022 年度 JAF 国内競技車両規則第 2 編ラリー車両規定に基づく RRN・RJ・RPN・RF・AE 車両で下記の全ての条件を満たしたものを。

- ① 2022 年ラリー車両規定に従った、FIA/JAF 公認車両または JAF 登録車両であること。
- ② FIA/JAF 公認車両については公認書に記載された重量、JAF 登録車両についてはカタログに記載された重量に、それぞれ 3 5 kg を加えた値の最低重量とする。

クラス区分

JMRC 東北ラリーシリーズ

- 1 クラス 2500cc を超える車両。
- 2 クラス 1500cc を超え 2500cc 以下の車両。
- 3 クラス 1500cc 以下の車両。
- 4 クラス AE 車両および 1500cc 以下の AT 車両
- 5 クラス その他の車両。(排気量及び駆動方式を問わず)
過給器付車両へのエアリストリクターの装着は任意とする。

2022 年 JMRC 東北ラリーシリーズ統一規則第 15 条クラス区分に従う。

11 参加申込受付期間

受付開始 2021 年 12 月 10 日 (金) 09:00
申込締切 2021 年 12 月 20 日 (月) 19:00 迄

12 参加申込および問い合わせ先 (大会事務局)

12.1 大会事務局

名称 : モータースポーツクラブあきた MSC あきたウィンターラリー-2022 大会事務局
住所 : 〒010-1422 秋田市仁井田目長田 2 丁目 3-2 7
Tel : 018-839-0834 (カードクターK) 090-7337-5968 (担当 加藤 正美)
Fax : 018-839-0834 (カードクターK 宛)
E-Mail : mscakita.office@gmail.com

12.2 提出書類

オーガナイザー所定の下記書類に必要事項を記入し申込期間中に大会事務局に E-mail にて申込むこと。

参加申込提出書類

- ・ 参加申込書
- ・ 車両申告書
- ・ サービス申込書
- ・ ドライバー・コドライバーのライセンスと運転免許証および JMRC 東北共済カード（裏表）の写し
- ・ 自動車検査証の写し
- ・ 対人、対物、搭乗者保険（第 12 条を満足する競技用保険証、見舞金制度登録証）の写し
なお、競技保険項目の追加申込証の場合は保険元本（写し）も提出すること
- ・ 参加申込明細書
- ・ 車載カメラ使用申請書（車載カメラを使用する場合レッキ参加確認受付時までに提出のこと）
- ・ 誓約書（誓約書のみ現地の参加受付時まで提出のこと）

12.3 参加料

参加料金 JMRC 東北ラリーシリーズ 参加料 40,000 円/台(1 サービススペース含)
サービススペース追加 / 1 スペース 3,000 円

※サービス員登録は無料。

※場所に限りがありますのでスペース追加は 1 スペースのみでお願いいたします。

※積載車駐車場(無料)はサービススペースより離れておりますのでご了承ください。

※東北地区以外の参加者はお年玉割引(10,000 円)あります。

注) 本料金には宿泊・食事代は含まれておりません。(宿泊施設のご紹介は可能です)

12.4 サービス申込

所定の申請用紙に必要事項を記入し、参加申込と同時に申込むこと。

- サービスカー追加登録費用 2,000 円/台

12.5 支払い方法

参加料、サービス申込料の支払い方法は下記の口座へ振込みとする

振込先銀行名 北都銀行

支店名 桜支店

口座種目 普通預金

口座番号 1023788

口座名義 モータースポーツクラブあきた 会計 熊谷 修

※振込み手数料は申込者の負担とし、申込期間内に振込みが確認された場合のみ正式申込とみなす。

※参加申込期日後の申請・登録内容の変更（追記も含む）には、1 件につき 2,000 円の事務手数料を必要とする。

※審査委員会及び行政の指導により本大会が中止になった場合、総参加費の 70%を返金する。

13 保険

2022 年 JMRC ラリーシリーズ規定 17 条に基づき、ラリー競技に有効な対人賠償保険、対物保険、および搭乗者保険（または JMRC 共済制度等）に加入していること。対人 2,000 万以上、対物 200 万以上、搭乗者保険 1000 万以上とすること。

尚、競技用保険未加入の方は、当ラリーに有効な保険加入手続きを事務局に問い合わせの上で事前申し込みをすること。

競技用自動車保険申込書に必要事項を記載し期限までに申込むこと。

14 参加台数および受理

- 14.1 競技会の総参加台数は 60 台までとする。なお、参加受理は選手権出場者を優先とする。
- 14.2 参加受理は 12 月 28 日以降に公式 WEB サイト(<https://msc-akita.com>)によって公告され、エントリーリストにより発表される。参加受理書の発行は行わない。
- 14.3 組織委員会は、国内競技規則 4-19 に従い、理由を示すことなく参加を拒否する権限を有する。この場合、事務手数料 2,000 円を差し引き参加料は返還される。
- 14.4 正式受理後の参加料は、オーガナイザーの都合で競技会を中止した場合を除き、返還されない。

15 クルーの安全装備

- 15.1 2022 年国内競技車両規則第 4 編 付則ラリー競技に参加するクルーの装備品に関する付則に従ったヘルメットおよびレーシングスーツを着用すること。また、グローブも着用すること（コ・ドライバーは任意）。
- 15.2 本競技会の全日本選手権に参加するクルーにおいては、頭部および頸部の保護装置（FHR システム、HANS 等）の装着を義務付ける。

16 音量規制

本競技会に参加できる車両のマフラー（消音器の触媒コンバーター以降）は車検（国土交通省が行う自動車検査登録制度）に合格時装着されていた物を使用すること。また、平成 23 年 4 月以降に生産された車両については当該車両の純正品または 公益法人 日本自動車研究所（JARI） 株式会社 JQR 財団法人 日本自動車輸送技術協会 の検査に合格し、それを証明する銘板が付いた物を使用すること。

17 公式車両検査

- 17.1 全ての参加車両はオーガナイザーの指定した車両検査場（サービスパーク車検エリア）において 1 月 8 日（土）13:00～実施される車検を受けなければならない。
- 17.2 規定の時間内に車検に合格しない競技車両は、例外なくスタートできない。但し、競技会審査委員会が修正時間を与える場合がある。
- 17.3 上記 16.2) において、与えられた修正時間内に修正し、再車検に合格した場合はスタートすることができる。
- 17.4 競技車両に搭載する物
非常用停止表示板(三角)2枚、非常用信号灯、赤色灯、牽引用ロープ、救急薬品、2019 年 JAF 国内競技車両規則第 2 編ラリー車両規定第 2 章第 3 条に定められている仕様の消火器。A 3 版の "OK" "SOS" カード (車内の取り出しやすい位置に置いておくこと)
- 17.5 車載カメラの取り付け
車載カメラを取り付ける場合は、参加申込時に車載カメラ使用申請書を提出すること。
また、カメラの取り付けが車体の中側、外側を問わず公式車両検査までに取り付けられていなければならない。
公式車検時に車検員により許可ステッカーが貼付けされ、許可を受けていない場合の撮影は禁止する。
尚、このカメラで撮影された映像の著作権はオーガナイザーに帰属されているので、オーガナイザーに画像の提出を求められる事がある。

18 広告およびラリープレート

- 18.1 ウインド、屋根を含む車体への広告が許される。
- 18.2 任意広告
参加者は付則6に従って広告スペースを確保しなければならない。
- 18.3 アルコール及び煙草の広告
ラリーカー及びユニフォームに対する広告に制限はなく、アルコールや煙草に関する広告も同様とする。
- 18.4 ラリープレート及びゼッケン
オーガナイザーは各クラスに対し、ラリープレートとゼッケンパネル一式を支給する。
これらは付則6に従って公式車両検査時までには車両に貼り付けなければならない。これに違反した場合は罰金 54,000 円を課す。

19 タイヤ & チェーン

- 19.1 本競技会で使用できるタイヤは日本国内で市販されているスノータイヤとする。
- 19.2 安全上必要と判断した場合、競技長の宣言により規定本数に追加して2本使用することが出来る。
本項にしたがってなされた競技長の宣言に対して抗議することは出来ない。
- 19.3 2輪駆動車にかぎりタイヤチェーンの装着を認める場合がある。

20 タイムコントロール

- 20.1 公式時刻は、日本標準時を基準とした競技会計時委員の時計による。
- 20.2 レグの最終 TC（その直前にサービスがある場合 H はその出口のコントロールも含む）
は早着をタイムペナルティの対象とせずとも目標時刻より前にチェックイン出来る

21 スペシャルステージ

- 21.1 スペシャルステージ区間の計時は、1/10 秒まで計測する。
- 21.2 スタートは全車 2 分間隔とする。
- 21.3 スタートの方法および合図は、電気式カウントダウン表示装置にて行う。ただし、故障の際は、ラリー競技開催規定付則：スペシャルステージラリー開催規定第 25 条 6-1) に従う。

2.2 整備作業

- 22.1 技術委員長が指定した技術委員が整備作業の監督の任に当たる。
- 22.2 整備作業は、サービスパークでのみ行うことができる。ただし、外部からの援助を受けることなくクルー自らが車載の道具類のみを使用して、作業を行う場合はこの限りではない。
(コントロールエリアおよびパルクフェルメは除く)
- 22.3 作業を行うときは、必ずシートを敷いて行き、サービスパークの美化につとめること。
- 22.4 サービスパーク内においては、いかなる車両も 20km/h を越えて走行してはならない。

2.3 賞典

JMRC 東北ラリーシリーズ

1クラス	1位～3位	JAF 盾	副賞	4位～6位	副賞
2クラス	1位～3位	JAF 盾	副賞	4位～6位	副賞
3クラス	1位～3位	JAF 盾	副賞	4位～6位	副賞
4クラス	1位～3位	JAF 盾	副賞	4位～6位	副賞
5クラス	1位～3位	JAF 盾	副賞	4位～6位	副賞

JAF 盾を除き、各クラス参加台数の 30% を下回らない範囲で賞典の制限をする。

この場合正式な賞典内容は公式通知にて明示される。

2.4 損害の補償

- 24.1 参加者は参加車両及びその付属品が破損した場合、ならびに第三者に損害を与えた場合、その責任を自己が負わなければならない。参加者は JAF、オーガナイザー、大会関係者、道路管理者、警察及び関係省庁が一切の損害事故の責任を免除されていることを了承しなければならない。すなわち大会役員はその役務に最善を尽くすことはもちろんであるが、参加者の負傷・死亡・その他車両の損害賠償などに対して JAF、オーガナイザー、大会関係者、道路管理者、警察、関係省庁及び大会役員は一切補償責任を負わない。
- 24.2 参加者が競技中に起こしたオーガナイザー、大会役員車、その機材及び道路関係施設（ガードレール、カーブミラー、電柱、標識等）の事故はいかなる場合も参加者が責任を持って賠償するものとする。

2.5 抗議および控訴

- 25.1 抗議及び上告については 2022 年国内競技規則を参照する事。

2.6 オフィシャルの識別

ポストチーフおよびマーシャルは以下の服装により識別される。

スペシャルステージコマンダー	緑色のタバードに黄色文字
ポストチーフ	青色のタバードに白文字
ポストマーシャル	オレンジ色のタバードに白文字
セーフティマーシャル	赤色タバードに白色文字
SOS ラジオマーシャル	黄色タバードに黒マーク
メディカル要員	緑色タバードに白十字
技術役委員	黒色タバードに黄色文字
選手リレーション役員	黄色タバードに黒文字
その他のオフィシャル	クレデンシャル

2.7 本規則の解釈

本規則あるいは公式通知の解釈に疑義が生じた場合は競技会審査委員会の決定を最終とする。

MSC あきたウィンターラリー 2022 大会組織委員会

2.8 新型コロナウイルス感染症に関する特別措置

会場内（車外）ではマスクを着用すること。

ソーシャルディスタンスを保つこと。

参加受付はコントロールタワー外に窓口を設け行う。その際はソーシャルディスタンスを保ち、クラス毎に時間を区切って行う。

開会式及びドライバーズブリーフィングは主催者が指示する新型コロナウイルス感染予防に関する各種対策を守ったうえで行う。

ワクチン接種を証明できる書類を持参すること。

（予防接種証等接種を確認できる書類であれば可）

2 週間前には PCR 検査を行うこと。



細則 1

アイテナリー

2021年12月25日以降に発表予定

アイテナリーは参加台数により変更されますのでご注意ください。

細則 2

レッキスケジュール

コミュニケーションにレッキスケジュール及びレッキルートを示す。

細則 3

コンペティターズリレーションズオフィサー（CRO）



古川 金美

☎ コミュニケーションにて示す

CROの行動スケジュールはコミュニケーションにて示す。

細則 4

HQレイアウト、サービスパークレイアウト
詳細はコミュニケーションにて公示する。



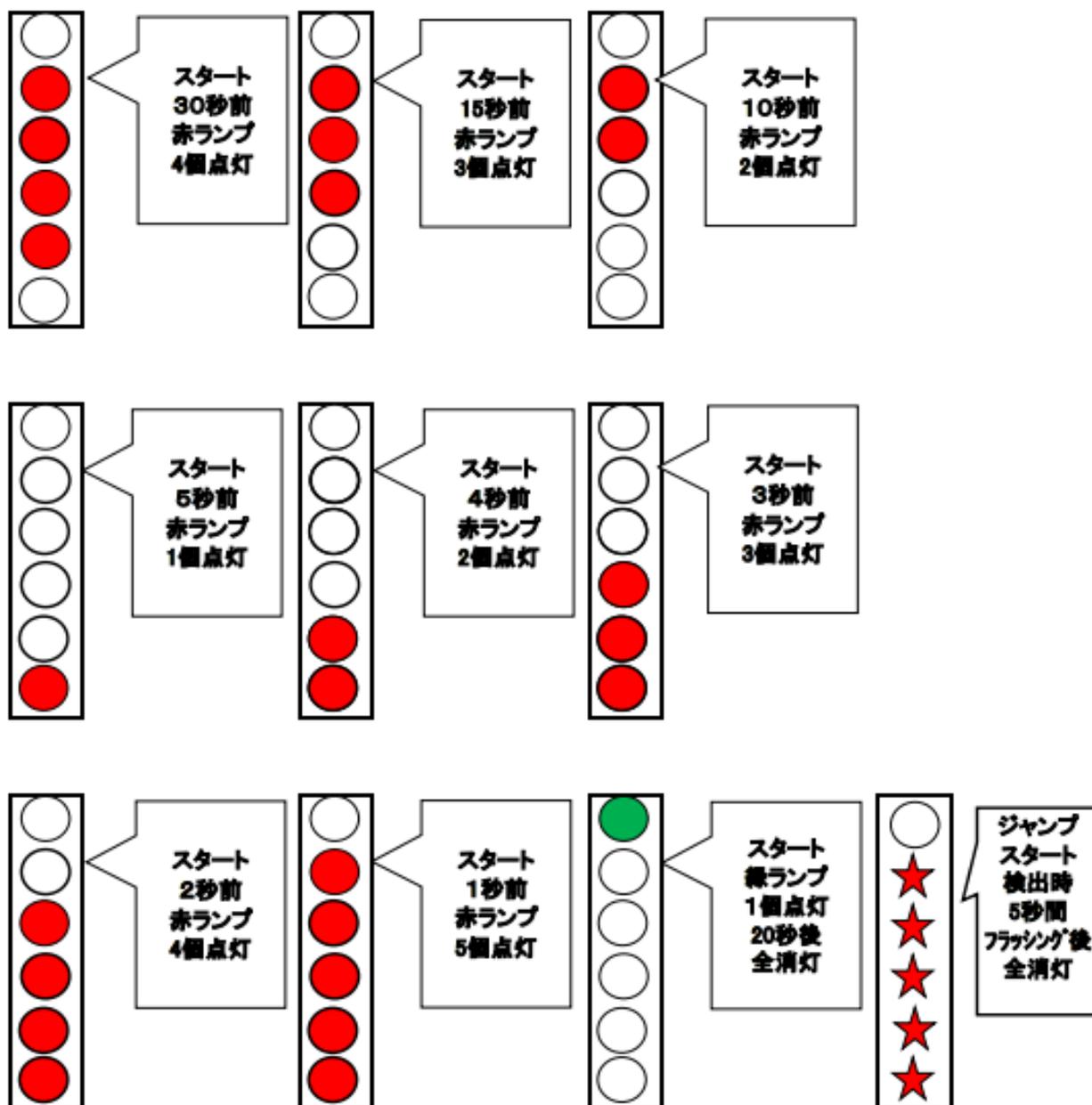
細則 5

スタートシグナルシーケンス及び手順

スタート方法

下記のスタートシグナルを使用する場所も有る。下記参照

尚、システムが故障した場合は、オフィシャルの合図によるカウントダウン方式とする。

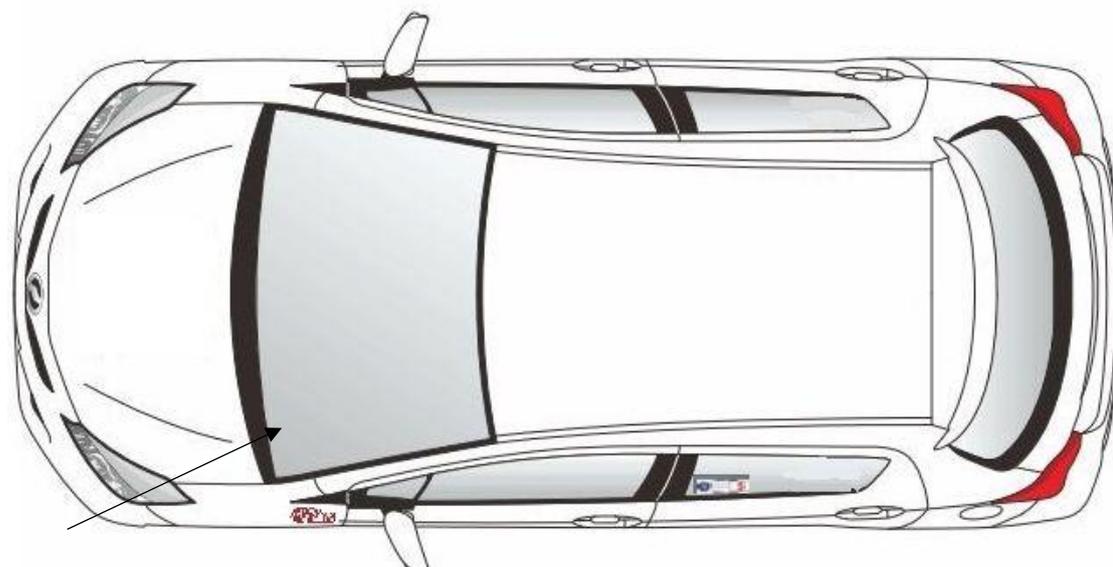
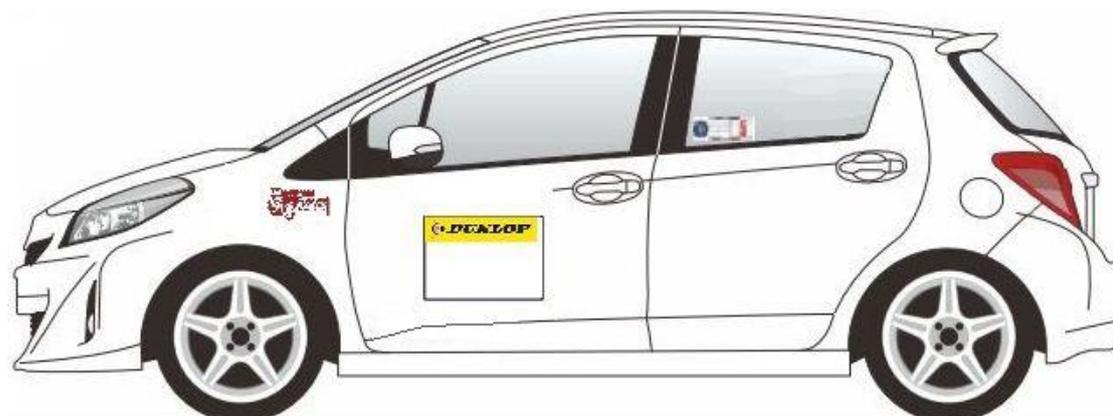


- フライング検知
スタート時刻前にスタートラインを通過した場合表示部が**点滅**する。
- もしこのシステムが故障した場合は、クルーに十分聞こえる大きな声で 30秒—15秒—10秒—5秒—4秒—3秒—2秒—1秒の順にカウントダウンをする。

細則 6

ラリーゼッケン及び広告

ラリーゼッケン	: 左右ドアの2枚
J A F 公認ラリー競技会之証	: 左リアウィンドウの目視可能な場所
レッキプレート	: 助手席左先端ダッシュボード



レッキ用プレート貼り付け位置

レッキ用プレート以外はレッキ終了後に貼り付けてください

細則 7

スペシャルステージ

本競技会は、スーパースペシャルステージを設けない。

細則 8

サービス

本競技会は、フレキシサービスを設けない。